

## 重点戦略

## 2

## 若者・子育て世代の定住環境の創出

まちづくり宣言4 子育て環境日本一を目指したまちづくりを進めます。

## 1 現状認識

- ・本市の合計特殊出生率<sup>\*1</sup>は平成21年で1.18を記録し、国、県の1.37を下回っています。いずれの数値も人口を維持するために必要とされる合計特殊出生率2.08にはほど遠いものとなっています。
- ・少子化対策は国全体で取り組むべき大きな課題です。しかし、将来のまちづくりを考えていくうえで、基礎的自治体としての対応も不可欠となっています。
- ・本市では、「第3子支援事業<sup>\*2</sup>」など特色ある子育て支援事業に取り組んできました。また、子育て関連のNPO法人や市民活動団体も幅広い活躍を見せています。
- ・今後も多角的な視点で特長的な子育て支援策を展開し、子ども達や子育て世代にとっても暮らしやすい環境を創出していく必要があります。

## 2 宣言が目指すまちの姿

「子どもを産み、育てるなら龍ヶ崎」と思ってもらえるような、他にはない、充実した環境の中で、子ども達や子育て世代がいきいきと暮らしています。

## 3 実践に向けての考え方

## (1) 総合的視点での少子化対策の展開

結婚、妊娠、出産、育児、教育、それぞれのステージに応じた支援メニューの充実を図るとともに積極的なPRに努めます。また、ワークライフバランス<sup>\*3</sup>の認識を高めるための啓発を行い、仕事と子育てが両立できるような職場環境づくりを促進します。

## (2) 子育て支援の充実

子育てにかかるニーズの把握に努め、安心して預けられる場や救急時の医療体制の確保、経済的負担の軽減など、必要とされる支援策を様々な主体との連携により推進します。

## 市民の役割

家族は、愛情と責任を持って子どもを育てます。また、地域社会全体で子どもと子育て家庭を見守り、子育てを応援します。

## 行政の役割

医療体制の確保や保育・預かりサービスなど、子育て支援の充実を図るとともに、子育て支援に取り組む市民活動団体等を支援します。

<sup>\*1</sup>合計特殊出生率 : 人口統計上の指標で、一人の女性が一生に生む子どもの数を示す。

<sup>\*2</sup>第3子支援事業 : 子どもの出産の奨励のため、平成21～25年度に出生した第3子以降の出産に対してその祝金を支給し、後年、その子が幼稚園・保育所に入所した際の保育料を免除する本市独自の事業。

<sup>\*3</sup>ワークライフバランス : [Work-life balance]「仕事と生活の調和」と訳される。国民一人ひとりがやりがいや充実感を持ちながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できること。

#### 4 主要事業

主要事業名	内 容
優先プロジェクト 保育・預かりサービスの充実	保育需要や保護者のニーズに対応した適正なサービス量を確保します。また、学童保育の充実を図るとともにファミリーサポートセンター <sup>*1</sup> やリフレッシュ保育 <sup>*2</sup> の活用を促進します。
優先プロジェクト 遊びの拠点づくり <b>新規</b>	たつのご山周辺などを子ども達の「遊びの拠点」と位置付け、安心して楽しく遊べる環境づくりを進めます。
出会いのサポート <b>新規</b>	結婚に前向きな方々の出会いの場を提供します。
緊急時の医療体制の確保	小児緊急医療輪番制の充実を図ります。
たつのご育て応援の店 <sup>*3</sup> ・施設の拡充	乳幼児をはじめ小さなお子さんを連れての外出が気軽に楽しくできるように応援店・施設の拡充を進めます。
医療費と給食費の負担軽減 <b>新規</b>	子育て世代の経済的支援と医療の安心を確保するため、小児マルフク <sup>*4</sup> の拡大と給食費の負担軽減に段階的に取り組みます。
相談・支援体制の充実	訪問指導や育児相談などの母子保健サービスを推進するとともに、食育の知識普及に努めます。
3人っ子応援制度	経済的負担の軽減の他、様々な支援策の組みあわせにより第3子以降の出産を総合的に支援します。
「子育て環境日本一」のアピール <b>新規</b>	イクメンコンテストなど、特長的なイベントを開催し、「子育て環境日本一」を内外にアピールします。
住み替え支援策の構築 <b>新規</b>	子育て世代の住み替えを支援し、本市への定住を促進します。

#### 5 数値目標

指 標 名	ベース値	目標値
1. 子どもを産み、育てやすい施設・サービスに満足している市民の割合〔21～50歳〕(%) ※子育て環境・サービスに関する市民の評価を見る指標	29.7	39.7
2. 保育所の待機児童数(人) ※保育サービスの充実度を見る指標	0	0
3. 第3子以降の出生数(人) ※第3子以降出生数の動向を見る指標。目標値は設定せず経年変化をモニタリング	103	—
4. たつのご育て応援の店登録店舗数(店舗) ※市内民間事業者の子育て支援に対する取組状況を見る指標	16	40
5. 病院・医院の数と夜間・休日などの医療サービス体制に満足している市民の割合(%) ※医療サービスに関する市民の評価を見る指標	34.4	39.4

\*1ファミリーサポートセンター：子育ての援助をしてほしい人、したい人が会員となり、相互援助活動をするシステム。

\*2リフレッシュ保育：さんさん館内の保育ルームにおいて、一時的に児童を預かる本市独自の事業。

\*3たつのご育て応援の店：乳幼児をはじめ小さな子どもを連れての外出が気軽に、楽しくできるように、サポートをしている、してくれる施設やお店。

\*4マルフク：健康保険証を使用し、医療機関で要した医療費の負担を一部助成する制度。